



報告 ちがさき景観資源(えぼし岩)の指定について

ちがさき景観資源とは

- 市景観条例で定められた独自の規定で、市内各地でまちのシンボルとなっている樹林、樹木、その他茅ヶ崎らしい景観を構成する要素を指定するもの(第15条第1項)
※ちがさき景観資源の指定対象…みどり、水辺、歴史・文化、まち並み、公共空間、心象景観、眺望景観、生活景観、祭事等の資源を幅広く指定するもの
- 指定にあたり、審議会からの意見を聞くこと及び所有者の同意が必要となります(第15条第2項)

指定方針

- 1)景観計画、都市マスタープランなど、本市のまちづくりの目標や方針等に合致するもの。
- 2)市民や来訪者に愛され、茅ヶ崎の文化やシンボルとなっているもの。
- 3)維持管理、指定解除の条件、周知イベントの実施など、保全活用方策を定めていること。

指定後は、資源の魅力の保全と活用、普及啓発に配慮した取り組みを進めます。

本市の指定状況 全9件

①鶴嶺八幡宮参道の松並木

②旧相模川橋脚のソメイヨシノ

③腰掛神社の樹叢

④鶴嶺小学校のカイツカイブキとソメイヨシノ

⑤勘重郎堀のシイノキ（指定解除）

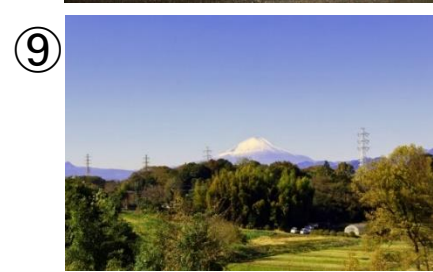
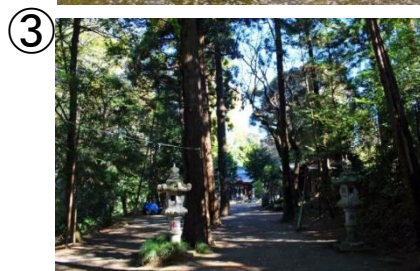
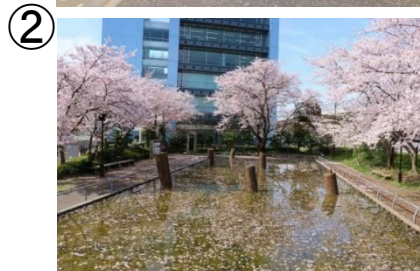
⑥松尾大神のタブノキとイチョウ

⑦関東の富士見百景 茅ヶ崎市からの富士
茅ヶ崎南湖の左富士

⑧関東の富士見百景 茅ヶ崎市からの富士
茅ヶ崎海岸・ヘッドランドとその周辺

⑨関東の富士見百景 茅ヶ崎市からの富士
県立茅ヶ崎里山公園内柳谷

⑩浄見寺周辺の歴史・文化交流エリア



指定候補地について【えぼし岩】



写真：寺尾 恵一 様

◎茅ヶ崎景観計画にてちがさき景観資源候補地となっている

◎景観ポイントとは
景観ゾーンの景観特性を良く表し、茅ヶ崎の「見どころ」となっている場所

【見どころ】
外見や、ラチエン通り・茅ヶ崎サザンCから見た茅ヶ崎のシンボルの眺望

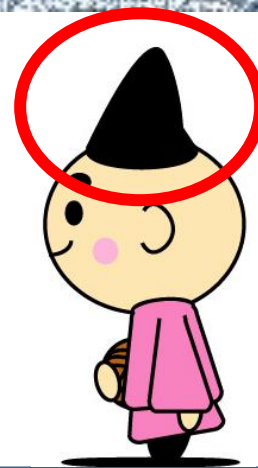
【方針】
海岸等からのえぼし岩の眺望を保全します。
また、景観を活用し地区の魅力を高める取組をすすめます。

指定候補地について 【えぼし岩】



姥島

写真：五十嵐正男 様



指定候補地について

- 景観計画において「海岸地域景観ゾーン」に位置づけられ、市を代表する眺望景観の一つとなっている
- 海岸から約1.6km・茅ヶ崎漁港から2.1kmに位置する島（大小50個以上あり東西600m・南北400m）
- 「烏帽子」に似た形から、えぼし岩と呼ばれている
- 約1200万年前の地層がみられ、約200種類以上の生物が確認できる茅ヶ崎市唯一の磯環境
- 採藻・採貝・刺網漁などが行われる豊かな漁場であり、地元漁業と深くかかわっている
- 戦後、米軍の射撃訓練の標的となり、形の変化などもあったが、市民による保護運動が起こるなど、地域に愛され大切に守られてきた

指定候補地について【えぼし岩】



景観特性

- 富士山や江の島と並ぶ風景要素として、茅ヶ崎の海岸風景に欠かせない「茅ヶ崎のシンボル」
- ラチエン通りやサザンCからの眺望、えぼし岩周遊船、市役所2階屋上庭園のモニュメントなどを通じ、市民や観光客に親しまれている
- 周辺の景観整備によって、茅ヶ崎市の有する代表的な地域資源としてさらなる活躍が期待できる

経過及び今後の予定

令和7年 10月20日	景観まちづくり審議会へ報告
令和7年 11月4日	都市計画審議会へ報告
令和7年 11月～1月	指定案作成・関係部署及び関係者との協議
令和8年 2月	原案確定
令和8年 2月(未定)	景観まちづくり審議会へ諮問(予定)
令和8年 2月(未定)	都市計画審議会へ諮問